

製品名: ヘパラーゼ 1 (10R18) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe11981**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	61kDa

抗原情報

遺伝子名	HPSE
別名	HEP; Heparanase; Heparanase1; Hpa 1; HPA; Hpa1 HPR1; HPSE1; HSE1;
遺伝子 ID	10855.0
SwissProt ID	Q9Y251
免疫原	ヒトヘパラーゼ 1 の組み換えタンパク質

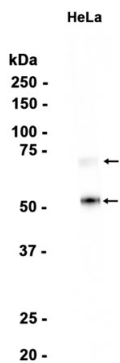
背景

エンドグリコシダーゼは、細胞表面および細胞外マトリックス分解酵素です。ヘパラン硫酸プロテオグリカン (HSPG) をヘパラン硫酸

側鎖とコアプロテオグリカンに切断します。ヘパラン硫酸プロテオグリカン (HSPG) をヘパラン硫酸側鎖とコアプロテオグリカンに切断するエンドグリコシダーゼです。細胞外マトリックス (ECM) の分解とリモデリングに関与しています。グルクロン酸単位と 3-O-スルホ基または 6-O-スルホ基を持つ N-スルホグルコサミン単位との結合を選択的に切断します。また、グルクロン酸単位と 2-O-スルホ基を持つ N-スルホグルコサミン単位との結合も切断できますが、グルクロン酸単位と 2-O-硫酸化イズロン酸部分との結合は切断できません。中性 pH では本質的に不活性ですが、腫瘍浸潤時や炎症過程などの酸性条件下では活性になります。転移、創傷治癒および炎症に伴う細胞遊走を促進します。シンデカンの切断を促進し、骨髄腫における内皮浸潤および血管新生を増加させます。組織因子および活性化因子 VII の存在下で活性化因子 X の生成を増加させることにより、凝血促進剤として作用します。酵素活性とは無関係に、細胞外マトリックス (ECM) への細胞接着を増加させます。脂質ラフトを介して AKT1/PKB のリン酸化を誘導し、細胞の移動性および浸潤を増加させます。ヘパリンはこの AKT1/PKB の活性化を増加させます。骨形成を制御します。SRC を介した VEGF の活性化の上方制御を介して血管新生を促進します。毛包内毛根鞘分化および毛髪の恒常性維持に関与しています。

研究分野

画像データ



ヘパラーゼ 1 (10R18) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。